

# 産地市場におけるコロナ被害の現状把握と地域コミュニティとして対策への検討

三重大学大学院生物資源学研究科 常 清秀  
小林 弘典(M1) 野沢 響・宮嶋 優(4年生)

## 活動概要

本調査研究は、尾鷲市を中心に新型コロナウイルスの感染拡大により地域内漁業関連業者にもたらされた経済面での損失の実態を明らかにすることを目的としている。令和3年度は、尾鷲管内の産地出荷業者を中心に調査し、新型コロナにより受けた影響を明らかにした。

## 活動内容—尾鷲管内産地出荷業者に関するヒヤリング調査—

- 調査期間: 2021年11月～2022年3月
- 調査対象者: 尾鷲管内産地仲買業者22業者
- 主な調査項目:
  - 各業者の事業内容の把握
  - 仕入れと出荷・販売ルートにおける変化
  - 新型コロナにより受けた影響



半分の業者が水産加工に関わっている

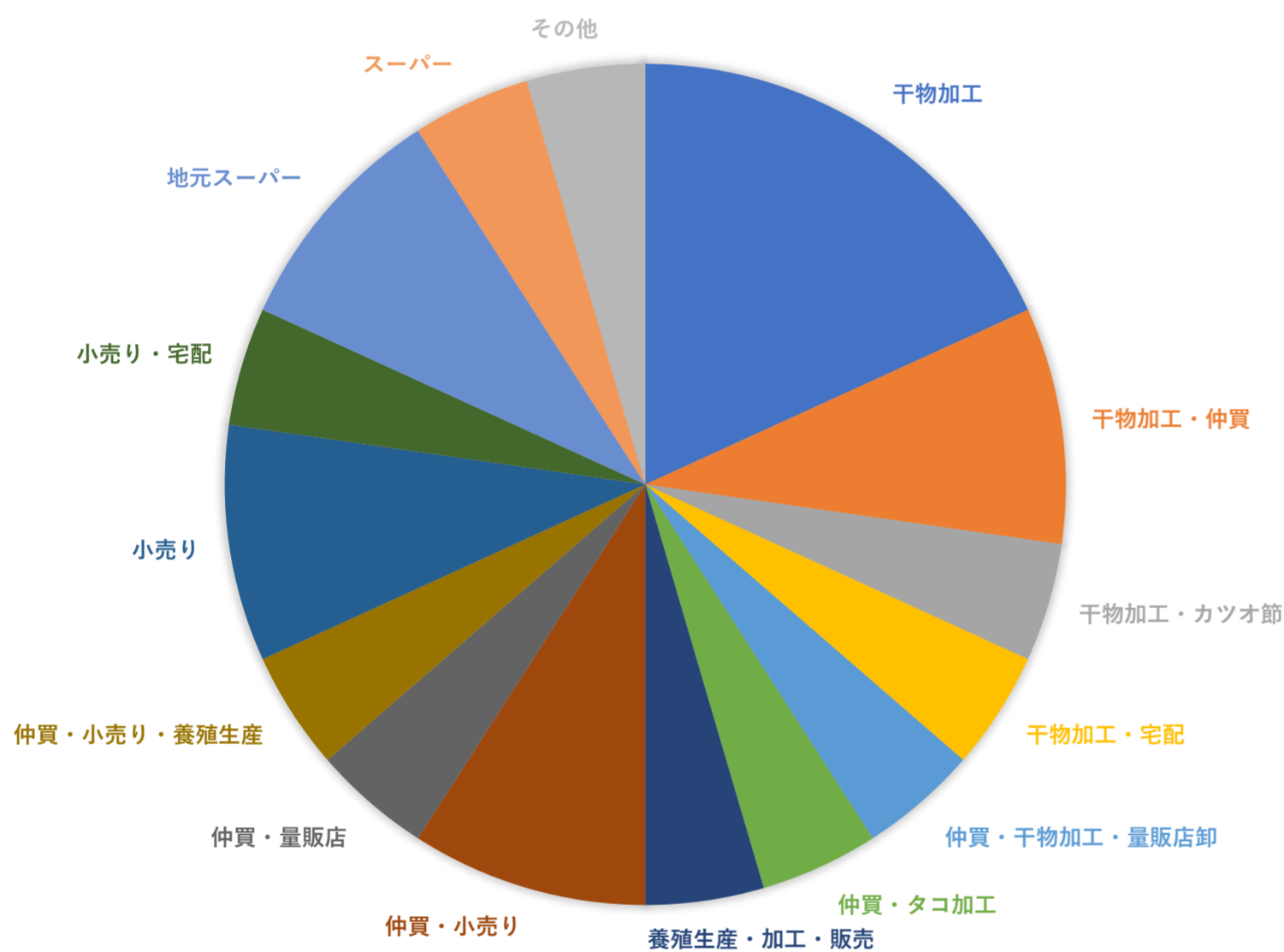


図1.産地仲買業者業態別業者数  
資料: 三重外湾漁協尾鷲事業所より作成

尾鷲管内22業者のうち14業者に対して、ヒヤリング調査を行った。

**実施率: 6割強**

仲買+α: 3社、干物加工+α: 7社  
小売+α: 3社、その他: 1社



## 調査結果

### 1) 新型コロナにより受けた影響

「○」損失あり 「✕」損失なし 「▲」損得の両方ある場合

表1. 業者別新型コロナによる売上高の増・減とその要因

業者別	実態	主な要因	業者別	実態	主な要因
A	○	大都市消費地卸売市場への出荷分が減ったため (ー)	H	○	帰省客の減少、ばら売りの停止 (ー)
B	○	海外産原料のコストアップ、コンテナの停滞 (ー) 等	I	○	宅配の減少・魚市の中止 (ー)
C	○	帰省客の減少 (ー)	J	▲	スーパー需要の増加 (+)、帰省客の減少 (ー)
D	○	外出規制・帰省客の減少 (ー)	K	▲	巣ごもり需要 (+)、飲食業の停止 (ー) 等
E	○	飲食業の停止・帰省客の減少 (ー)	L	○	飲食業の停止・魚祭りのようなイベントの中止 (ー)
F	○	外出規制・帰省客の減少 (ー)	M	▲	巣ごもり事業 (+)、帰省客の減少 (ー)
G	✕	販売先は個人需要者がメインであるため (+)	N	▲	競合相手の減少 (+)、外出規制 (ー)

### 2) 考察—特徴と今後の課題—

【特徴点】・仕入より販売面で受けた影響のほうが大きい。・業態や販売先の違いにより受けた影響が異なる。  
・多様な展開をしている業者、および消費者と直接に繋がりを持っている業者の損失が比較的小さい。

①地域内需要の創出と地域流通の強化 ②対外的には、独自の流通チャネルの構築が課題にある

問い合わせ先: 三重大学大学院 生物資源学研究科 教授 常 清秀 (chang@bio.mie-u.ac.jp)

三重大学大学院 生物資源学研究科チーム 東紀州サテライト担当 (kishu@bio.mie-u.ac.jp)